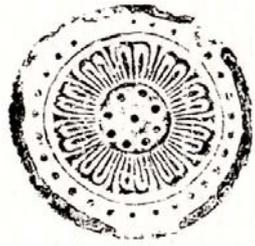


大分市歴史資料館年報

(平成 23 年度)



2012

はじめに

大分市歴史資料館では、市民の皆さんに親しまれる資料館であるために、よりよい資料館活動をめざしてさまざまな事業を実施しているところです。

まず展示事業では、本年度は4回のテーマ展示「豊後南蛮交流史」「昭和・平成の遊びー懐かしのおもちゃとヒーロー」「名所絵・絵はがきにみる昔の風景」「館蔵陶磁器ーやきものの魅力」と、秋季特別展「大分の君ー飛鳥と豊後をつないだ人」の展示会を開催しました。特別展では、豊後の豪族で、古代日本最大の内戦である壬申の乱で戦功を挙げた「大分の君^{えさか}・^{わかみ}稚臣」の活躍と、恵尺の墓と推測されている「古宮古墳」の意義を紹介しました。今回展示した数々の貴重な資料から、古代飛鳥の人々の息吹や、^{えさか}・^{わかみ}恵尺・稚臣が都と豊後を結ぶ架け橋となった時代に思いを馳せていただけたのではないかと思います。

教育普及活動では、本年度も、市民の皆さんを対象とした「ふるさとの歴史再発見」講座や、勾玉作りや火起こしなどの「ふれあい歴史体験講座」を実施しました。また、大分市内や近隣市町村の小中学校、PTA、子ども会など多くの皆さんから、体験活動や展示の観覧などで資料館を利用いただきました。おかげさまで、これらの展示や普及活動により、歴史資料館の利用者数は、今年度も4万人超を維持することができました。

ここに当館の平成23年度の事業をまとめ、皆様のご厚志にお応えするとともに、これからの活動の礎とするため、「大分市歴史資料館年報（平成23年度）」を作成いたしました。

歴史資料館も今年で開館25周年を迎え、現在の事業をさらに充実させ、より地域と密着した資料館をめざして参りたいと考えております。

最後になりましたが、今後とも、大分市歴史資料館の事業にご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月30日

大分市歴史資料館
館長 塔 鼻 光 司

目 次

展 示	1
テーマ展示 特別展 その他展示	
資料収集	12
教育普及活動	16
歴史資料館利用状況	21
管理及び運営	22
歴史資料館協議会 組織機構・事務分掌・職員・歳入歳出	
施設管理業務の内容	
施設の概要	23
利用案内	24

展 示

(1) テーマ展示

第1回 「豊後南蛮交流史」

会期 4月23日(土)～7月4日(月)

開館日数：63日 入館者数：3,044人

南蛮人と呼ばれたポルトガル人と大分の人々との出会いは、種子島に鉄砲が伝来してからわずか2年後の1545年のことである。宣教師の記録によると、大友宗麟の証言としてこの年に中国船に乗った数名のポルトガル商人が豊後府内に上陸し、ある者は3年間も当地に滞在していたことが記されている。その後、1551年に宗麟の招きで、フランシスコ・ザビエルが豊後府内を訪れ、これをきっかけにポルトガルとの本格的な交流が行われるようになった。

本展では、宣教師たちの記録をもとに、大分とポルトガルとの交流の歴史と、これにともない花開く豊後の南蛮文化の様相を紹介した。

主な展示品

南蛮屏風 模写（原本 神戸市立博物館蔵）／南蛮兜／花鳥文蒔絵螺鈿洋櫃／グレゴリオ聖歌譜／チェンバロ（復元）／大友府蘭書状／『日本の花束』／オルテリウス「日本図」／参考『イエズス会日本コレジオ講義要綱』（復刻）など



テーマ展示室入口



展示風景「ポルトガル商人が豊後にやって来た」



展示風景「大友宗麟、キリシタンになる」



展示風景「ザビエル、豊後を訪ねる」ほか

平成23年度 大分市歴史資料館 テーマ展示 I

豊後南蛮交流史

会期
4月23日(土)
～7月4日(月)

【展示解説講座】(無料)
5月22日(日)14:00～

大分市歴史資料館

1551年、大友宗麟の招きでフランシスコ・ザビエルが豊後府内を訪れたのをきっかけに、ポルトガルとの本格的な交流が行われるようになりました。
今回は大分とポルトガルとの交流の歴史と、これにともない花開く豊後の南蛮文化の様相を紹介します。

第2回 「昭和・平成の遊び」

—懐かしのおもちゃとヒーロー—

会期 7月16日(土)～10月16日(日)

開館日数：80日 入館者数：5,666人

昭和から平成にかけてのめまぐるしく移り変わる世の中で、子どもたちの遊びも大きく変わった。子どもたちの宝物である「おもちゃ」も絶えず進化し続けている。特に昭和30年代後半のテレビの普及は、さまざまな人気キャラクターを生み出し、子どもたちはヒーローのまねをして遊んでいた。

本展では、昭和から平成にかけての「懐かしのおもちゃとヒーロー」を当時の出来事とともに紹介した。

主な展示品

国産プラモデル第1号 原子力潜水艦ノーチラス号(榊童友社) / ライトプレーン・プロペラグライダー(ツバメ玩具製作所) / Uコン ゼロ戦(LS) / 巻玉・平玉・プラ玉鉄砲 / めんこ / ビックリマンシール・どっきりシール(ロッテ) / なめねこグッズ(榊グループS) / キン肉マン消しゴム / ゲーム&ウォッチ(任天堂) / カセットビジョン(エポック社) など



テーマ展示室入口



展示風景「昭和20～40年のおもちゃ」ほか



展示風景「昭和50年～平成のおもちゃ」ほか



テーマ展示室全体の展示風景

第3回 「名所絵・絵はがきにみる昔の風景」

会期 12月17日(土)～1月29日(日)

開館日数：31日 入館者数：1,671人

江戸時代には、各地の名所をめぐる庶民の旅行が盛んに行われるようになり、道中図や名所絵などが数多く出版された。また、明治時代には、官製はがきに加えて、新たに私製のはがきが発行できるようになり、大正時代になると写真をもとにした絵はがきも普及していった。

本展では、大分をはじめ日本各地の旅の土産品として作られた名所絵や絵はがきを通して、懐かしい昔の風景をご覧いただいた。

主な展示品

『日本山海名所図会』／「江戸名所之絵」・「東都名所 両国橋夕涼全図」（個人蔵）／泥絵【前田家上屋敷、井伊家上屋敷など】（個人蔵）／『画典通考』／『由原八景』／錦絵「柞原八幡社之図」／錦絵日本地誌略「佐賀之関」／昭和25年鳥瞰白杵市街図絵／福岡市パノラマ図／絵はがき「大分名勝」・「別府温泉名勝」・「日田名勝」・「官幣中社大宰府天満宮」・「福岡百景」／絵はがき「羅漢寺記念」・「贈呈 亀川町」・「熊本名所 水前寺成趣園」・「東京名所」（個人蔵）など



展示室風景「実景を写した名所絵の流行」ほか



展示風景「鳥瞰図の流行」ほか



展示風景「名所絵はがきの普及」



展示風景

テーマ展Ⅲ
名所絵・絵はがきにみる昔の風景
会期 十二月十七日～一月二十九日
解説講座(無料) 一月二十二日(日)
大分市歴史資料館
■開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)
■休館日 月曜日 祝日の場合は閉館。但し新年初日は閉館し、翌火曜日が休館日。祝日の翌日 但し土・日曜の場合は閉館
■観覧料 大人200円 高校生100円 中学生以下は無料

第4回 「館蔵陶磁器 ～やきものの魅力～」

会期 2月4日(土)～4月2日(月)

開館日数：50日 入館者数：948人

中世大友府内町跡の発掘調査では、中国をはじめ、タイ・ベトナム・ミャンマーなどから南蛮貿易によってもたらされた陶磁器が数多く発見されている。当館では、これら発掘された陶磁器の全体像が分かる資料として、国内外に伝世された陶磁器の収集を行っている。

本展示では、これら館所蔵の陶磁器を一堂に展示し、大友宗麟をはじめとする戦国大名や町人などを魅了したやきものの魅力について紹介した。

主な展示品

I 青磁 牡丹唐草文瓶・鎬蓮弁文碗・雷文碗・玉壺春瓶・稜花盤・酒海壺・夜学型器台／II 染付・呉須手 青花麒麟絵皿・呉須赤絵寿字皿・瑠璃地餅花手盤／III 華南三彩 翡翠釉菊花形小皿・交趾香合・鳥形水滴・鳥形水注・刻花文六耳壺・貼花文五耳壺・刻花文盤・印花魚藻文稜花盤・刻花雲龍文皿・刻花花鳥文小皿・刻花花鳥文平鉢／IV 東南アジア産陶磁器 タイ鉄絵合子・鉄絵魚文盤・焼締陶器四耳壺・安南黄白釉褐彩花文蓋付壺／阿蘭陀色絵細水指／瀬戸芋の子茶入



テーマ展示室入口



展示風景「青磁」



展示風景「華南三彩」



展示風景「東南アジア産陶磁器」ほか

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM
テーマ展示Ⅳ
大分市歴史資料館
館蔵陶磁器
～やきものの魅力～

1 青磁 牡丹唐草文瓶	2 青磁 鎬蓮弁文碗	3 青磁 雷文碗	4 青磁 玉壺春瓶	5 青磁 稜花盤	6 青磁 酒海壺
7 青磁 夜学型器台	8 染付 青花麒麟絵皿	9 染付 呉須赤絵寿字皿	10 瑠璃地 餅花手盤	11 翡翠釉 菊花形小皿	12 交趾 香合
13 鳥形 水滴	14 鳥形 水注	15 刻花文 六耳壺	16 貼花文 五耳壺	17 刻花文 盤	18 印花魚藻文 稜花盤
19 刻花文 雲龍文皿	20 刻花花鳥文 小皿	21 刻花花鳥文 平鉢	22 東南アジア産 陶磁器	23 タイ鉄絵 合子	24 鉄絵魚文 盤
25 焼締陶器 四耳壺	26 安南黄白釉 褐彩花文蓋付壺	27 阿蘭陀色絵 細水指	28 瀬戸芋の 子茶入	29 30	31

会期 2月4日(土)～4月2日(月) 2013年度

中世大友府内町跡の発掘調査では、中国をはじめ、タイ・ベトナム・ミャンマーなどから南蛮貿易によってもたらされた陶磁器が数多く発見されています。当館では、これら発掘された陶磁器の全体像が分かる資料として、国内外に伝世された陶磁器の収集を行っています。

本展示では、これら館所蔵の陶磁器を一堂に展示し、大友宗麟をはじめとする戦国大名や町人などを魅了したやきものの魅力について紹介します。

【展示解説講座】3月4日(日) 14:00～(無料)

(2) 特別展

第30回特別展 大分の君－飛鳥と豊後をつないだ人－

「大分」という文字が歴史上最初に記されたのは、今をさかのぼること1300年前の奈良時代に献上された『古事記』である。また「正史」として編纂された『日本書紀』には、大分の歴史上最初に名前が書かれた「大分の君^{えさか}・^{わかみ}稚臣」という人物が記されている。この2人の人物は、古代日本の最大の内戦と言われる「壬申の乱」において活躍した人物で、恵尺の墓と推定されているのが、大分市三芳にある国指定史跡「古宮古墳」である。九州唯一の畿内型の横口式石槨をもつ、この古墳時代終末期の古墳は、当時の政治の中心であった飛鳥地域との関係を雄弁に語りかけてくれる第一級の史跡であり、大分の歴史を語る上で欠かすことのできないものである。

本特別展では、壬申の乱や、律令国家の成立過程にあった飛鳥時代の都、キトラ古墳をはじめとした古墳時代終末期の古墳などを通して、国指定史跡「古宮古墳」を紹介し、恵尺・稚臣が飛鳥と豊後の架け橋となった時代に思いを馳せていただいた。

なお、会期中の11月6日(日)に、大阪府立近つ飛鳥博物館館長の白石太一郎氏をお招きし、「終末期古墳の中での古宮古墳」の演題にて記念講演会を開催した。



記念講演会の様子

大分朝七未六分郡新定病前死天皇天宮
曰は恵尺也昔私同公不措身命以遂難之
皇子大御祖欲感愛爾盡死死子孫永寶
萬外小業位未見孫日夢手私家

大分の君

飛鳥と豊後をつないだ人

10月21日(金)～11月27日(日)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料 大人200円(団体150円) 団体は20名以上
高校生100円(団体50円) 中学生以下無料

【記念講演会】
■日時 11月6日(日)午後2時～4時
■講師 白石太一郎氏(大阪府立近つ飛鳥博物館館長) ※身体障害者手帳、療養手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその他障がい者は無料(受付で手帳を提示)
■テーマ 「終末期古墳の中での古宮古墳」
■場所 大分市歴史資料館講座室
■料金 無料

【展示解説講座】
■日時 10月30日(日)午後2時～3時
■料金 無料

主催 大分県教育委員会・大分県歴史博物館
協賛 大分県福祉福祉課・NBS 大分放送局
共催 大分放送局・JBS テレビ大分
CM 大分朝日放送・エフエム大分
大分ケーブルテレビ

大分市歴史資料館
〒870-0864 大分市大字国分 960-1 TEL097-549-0880

■交通案内 車 九大本線 豊後国分駅下車・大分・CS 国分駅前バス 歴史資料館入口下車・大分自動車道 大分IC・美高ICとも約15分

会期：10月21日(金)～11月27日(日)

会場：第2展示室・テーマ展示室

開館日数：38日 入館者数：5,246人

出品点数：159点

●記念講演会

日時：11月6日(日)午後2時～4時

会場：資料館講座室 聴講者数：131人



記念講演会の様子

展示品リスト

プロローグ				
番号	資料・遺跡	詳細・出土品	数量	所蔵者
1	『豊後国風土記』版本	大分郡条	1	大分市歴史資料館
2	『日本書紀』第7巻 版本	景行紀12年10条	1	西寒多神社
3	『古事記傳』版本		1	
4	『日本書紀』第28巻 版本	天武紀元年6月条	1	
5	『日本書紀』第29巻 版本	天武紀4年6月条	1	
I. 壬申の乱				
番号	資料・遺跡	詳細・出土品	数量	所蔵者
6	崇福寺跡	塔心礎出土舍利容器☆	4	大津市歴史博物館
7		軒丸瓦(複弁八弁蓮華文)	1	滋賀県立琵琶湖文化館
8		軒平瓦(重弧文)	1	
9	南滋賀廃寺跡	軒瓦(側視形蓮華文方形)	1	近江神宮(大津市歴史博物館)
10		軒瓦(素文方形)	1	
11		軒丸瓦(単弁八弁蓮華文)	1	
12		軒丸瓦(複弁八弁蓮華文)	1	
13	鳥庄遺跡	須恵器長頸壺	1	奈良県立橿原考古学研究所
14		須恵器蓋	1	
15		土師器坏	1	
17	宮滝遺跡	須恵器高坏	1	
18		須恵器坏	1	
19		須恵器蓋	1	
20		土師器高坏	1	
21		土師器坏	2	
22		土師器皿	1	
23		土管	1	
24	藤原宮跡	木簡「人物墨書」僧侶の姿☆	1	奈良文化財研究所
25	飛鳥京跡	木簡「伊勢国」☆	1	奈良県立橿原考古学研究所
26		木簡「大津皇」☆	1	附属博物館
27	飛鳥池遺跡	木簡「三野国」☆	2	奈良文化財研究所
28		木簡「陽沐戸」☆	1	
29	石神遺跡	篋書き須恵器「三野国」☆	2	
30		鉄鏃	10	
31	飛鳥寺塔心礎	挂甲☆	2	飛鳥資料館
32	唐橋遺跡	瀬田橋復原模型	1	大津市歴史博物館
33	壬申の乱	「箸墓の戦い」模型	1	飛鳥資料館
II. 飛鳥の宮都				
番号	資料・遺跡	詳細・出土品	数量	所蔵者
34	天武天皇坐像	—	1	薬師寺
35	飛鳥京跡 Ⅲ期遺構造成時の土器	須恵器坏	1	奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館
36		須恵器蓋	1	
37		土師器坏	3	
38	飛鳥京跡 Ⅲ期遺構出土の土器	須恵器坏	2	
39		須恵器蓋	1	
40		土師器坏	3	
41	飛鳥京跡	エビノコ大殿の復原模型	1	
42	飛鳥池遺跡	木簡「天皇」☆	1	奈良文化財研究所
43	飛鳥京跡	木簡「大君」☆	1	奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館
44		冠位木簡「大花下」☆	1	
45		冠位木簡「小山上」☆	1	
46		紀年銘木簡「辛巳年」☆	1	
47	藤原宮跡	冠位木簡「本位進大老」☆	1	奈良文化財研究所
48		紀年銘木簡「大寶三年」☆	1	
49	飛鳥池遺跡	富本銭☆	8	
50		富本銭・鍔棒☆	1	
51	石神遺跡	無文銀銭☆	1	
52	飛鳥池遺跡	ガラス玉	12	
53		ガラス原料	2	
54		ガラス鋳型	2	
55		るつぼ(ガラス)	1	
56		蓋(ガラス)	1	
57		るつぼ(金)	1	
58		るつぼ(銀)	1	
59		金片	5	
60		銀片	5	
61		るつぼ(銅)	1	
62	羽口	1		
63		銅片	5	

64		木簡「舎人皇子」☆	1	
65		木簡「大伯皇子」☆	1	
66	藤原宮地鎮具	須恵器平瓶☆	1	
67	大極殿院回廊基壇	富本銭☆	9	
68		水晶	9	
69	藤原宮跡	軒丸瓦(近江産)	1	
70		軒平瓦(近江産)	1	
71		須恵器坏	1	
72		須恵器蓋	1	
73		須恵器小壺	1	
74		須恵器小壺蓋	1	
75		須恵器長頸壺	1	奈良文化財研究所
76		須恵器壺	1	
77		須恵器鉢	1	
78		須恵器高坏	1	
79		土師器蓋	1	
80		土師器坏A	1	
81		土師器坏C	2	
82		土師器鉢	1	
83		土師器皿	1	
84		土師器鍋	1	
85		土師器高坏	1	
○トピック<飛鳥の仏教文化>				
86	飛鳥寺跡	創建期軒丸瓦(花組)	1	飛鳥資料館
87		創建期軒丸瓦(星組)	1	
88	川原寺跡	創建軒丸瓦	1	奈良文化財研究所
89		創建軒平瓦	1	
○トピック<水と石の都>				
90	石神遺跡	新羅産硯☆	1	奈良文化財研究所
91		新羅産長頸壺☆	1	
Ⅲ.天皇・豪族の古墳				
番号	資料・遺跡	詳細・出土品	数量	所蔵者
92	キトラ古墳	金銅製銀座金具☆	3	
93		金銅製六花形飾金具☆	2	
94		鉄地銀張金象嵌帯執金具☆	1	
95		大刀金具☆	4	
96	高松塚古墳	海獣葡萄鏡☆	1	飛鳥資料館
97		棺飾金具一式☆	17	
98		刀の飾金具一式☆	9	
99	石のカラト古墳	銀製大刀金具	3	
100		金製玉	1	
101		銀製玉	1	
102		須恵器皿	1	奈良文化財研究所
103		須恵器蓋	1	
横口式石槨				
104	シシヨツカ古墳	亀甲繫鳳凰文銀象嵌刀装具(柄頭)	1	
105		亀甲繫鳳凰文銀象嵌刀装具(鞘尻)	1	
106		雲龍文金象嵌刀装具(巾頸)	1	
107		雲龍文金象嵌刀装具(鞘口)	1	
108		銀製刀装具	1	
109		鉸具	1	
110		金銅製指輪	4	
111		金製鋌	5	大阪府教育委員会
112		金銅製太刀貴金具	1	
113		金薄板	4	
114		金糸	1	
115		銀製帯金具	1	
116		ガラス玉	436	
117		漆塗籠棺	14	
118		須恵器甕	1	
119		須恵器高坏	4	
120		シシヨツカ古墳模型	1	大阪府立近つ飛鳥博物館
121	お亀石古墳	平瓦	1	大阪府教育委員
122		須恵器坏身	1	
123		須恵器短頸壺	1	
124		須恵器壺(口縁部)	1	富田林市教育委員会
125		土師質土製品	3	
126	新堂庵寺(創建期中門)	平瓦	1	
127	オカンジ池瓦窯	平瓦	1	

128	塚廻古墳	緑釉棺台	5	個人・故 北野耕平氏 (大阪府立近つ飛鳥博物館保管)
129		前室敷石	1	
130	鉢伏山西峰古墳	須恵器長頸壺	1	羽曳野市教育委員会
131		須恵器高坏	1	
132		須恵器坏蓋	3	
133		土師器坏	1	
134		埴(方形)	3	
135		埴(長方形)	4	
136	オ一コ八号墳	須恵器坏蓋	1	羽曳野市教育委員会保管
137		土師器坏	2	
138		壘	1	
139	小口山古墳	埴	4	羽曳野市教育委員会
140		閉塞石(凝灰岩)	2	
141		閉塞石(安山岩)	1	
142	松井塚古墳	土師器皿	4	大阪府立近つ飛鳥博物館
143		松井塚古墳模型	1	
144	仏陀寺古墳	埴	1	太子町立竹内街道歴史資料館
飛鳥の人々～古墳から火葬墓へ				
145	阿武山古墳	冠帽復元品	1	飛鳥資料館
146		枕復元品	1	
147	竜田御坊山三号墳	三彩有蓋円面硯☆	1	大阪府立近つ飛鳥博物館
148		ガラス筆軸☆	1	
149	束明神古墳	須恵器蓋	5	奈良県立橿原考古学研究所
150		須恵器坏	2	
151		土師器坏	1	
152	柏原市	銅製船氏王後墓誌☆	1	大阪府立近つ飛鳥博物館
153	忍坂古墓	骨蔵器外容器	1	奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館
154	威奈大村墓	金銅威奈大村骨蔵器☆	1	
IV. 古宮古墳				
番号	資料・遺跡	詳細・出土品	数量	所蔵者
155	古宮古墳	須恵器蓋	1	大分市教育委員会
156		須恵器高坏	1	
157		須恵器蓋・高坏復元品	2	
158		古宮古墳模型	1	
159		古宮古墳地形模型	1	

☆は複製品等



特別展入口



「プロローグ I. 壬申の乱」のコーナー



「I. 壬申の乱 近江大津宮」のコーナー



「I. 壬申の乱 嶋宮・吉野宮」のコーナーほか



「Ⅰ. 壬申の乱 瀬田橋の戦い」のコーナーほか



「Ⅰ. 壬申の乱 箸墓の戦い」のコーナーほか



「Ⅱ. 飛鳥の宮都 天武天皇坐像」のコーナーほか



「Ⅱ. 飛鳥の宮都 飛鳥京」のコーナー



「Ⅱ. 飛鳥の宮都 飛鳥池遺跡」のコーナー



「Ⅱ. 飛鳥の宮都 藤原京の造営」のコーナー



「Ⅱ. 飛鳥の宮都 飛鳥の仏教文化」のコーナー



「Ⅱ. 飛鳥の宮都 水と石の都」のコーナー



「Ⅲ. 天皇・豪族の墓 石槨復元」のコーナー



「Ⅲ. 天皇・豪族の墓 石槨復元」のコーナー



「Ⅲ. 天皇・豪族の墓 キトラ古墳」のコーナーほか



「Ⅲ. 天皇・豪族の墓 横口式石槨」のコーナー



「Ⅲ. 天皇・豪族の墓 横口式石槨」のコーナー



「Ⅲ. 天皇・豪族の墓 古墳から火葬墓へ」のコーナー



「Ⅳ. 古宮古墳 エピローグ」のコーナー



「Ⅲ. 天皇・豪族の墓 Ⅳ. 古宮古墳」の風景

(3) その他の展示

自分史・家族史コーナー

●市報（8月1日号）にて展示希望者を募った結果、数人の応募者があった。その中の一人、河野 國人さん（77）が長年にわたって作ってこられた木の彫刻を紹介した。河野さんは長く林業行政に携わったことで、森林の大切さをより強く知ることになった。これまでに木や山を通じて感じ得たものを、さまざまな木の彫刻として表現され、作品を通じて森が人間にもたらす恵みに対する感謝の気持ちを感じていただいた。

尚、この展示については、博物館実習生が主体となって行った。



●展示希望者があるまでの期間、当館が所蔵する畳職人に関する道具から、畳表の手縫いに関する道具 14 点の他、畳の歴史、作成工程などのパネルとともに陳列展示を行なった。



常設展示（部分）展示替え

「縄文のコーナー」

●大分県埋蔵文化財センターより借用していた横尾貝塚の貝層剥ぎ取りパネルの一時返却にともない「縄文の食・道具」の展示替えを行った。



「民俗のコーナー」

●「昔の道具」コーナーについて、近世コーナーから民俗コーナーの展示のつながりを持たせるために展示替えを行なった。以前の昭和 30 年を中心とした生活風景の再現展示から、「明治以前」「大正から昭和初期」「昭和 30 年以降」に時代を分類し、各時代の食卓風景を前面に再現。同時に背面に各時代に使用された民具を陳列展示した。



●シットウウチと呼ばれる足踏式表編機の寄贈により、七島表を作成する一連の道具が揃ったため、駄菓子屋の再現展示から、江戸期より続く大分の名産である七島表(豊後表)に関する展示替えを行なった。



資料収集

資料収集委員会

1. 会議

開催日 平成24年3月17日(土)

場所 歴史資料館会議室

議題 ①委嘱状の交付

②会長、副会長の選出

③購入予定資料の説明・熟覧・審議

2. 委員会名簿

氏名	役職	専門
豊田 寛三	別府大学長	日本近世史
段上 達雄	別府大学文学部教授	日本民俗学
菊竹 淳一	九州大学名誉教授	日本美術史
鳥井裕美子	大分大学教育福祉科学部教授	日欧交渉史
下村 智	別府大学文学部教授	日本考古学

寄贈資料

- (1) 軍隊手牒 1冊 須田俊作氏
- (2) 額装「勅語」1点/尾崎典曆書簡 1通/安藤百老書簡 1通/城原礎小学校・同日新補習学校・同青年訓練所職員生徒児童一同書簡 1通/戦時貯蓄債券 1枚/戦時報国債券 1枚/大福節用 1冊 吉岡義太郎氏
- (3) 綴「戦線から銃後へ」1冊/綴「日支事変想い出」1冊/絵はがき 2枚/封書 1通/日の丸寄せ書き 1旗/最低通知書 1通/扶助料証書 1通/遺族年金証書 1通/弔慰金裁定通知書 1通/休職命令 1通/除籍通知 1通/勲八等白色桐葉章授与状 1通/感謝状 ① 1通/感謝状② 1通/感謝状③ 1通/軍用旅券 1通/報国債券 1通/戦時郵便貯金切手 1通 清田扶美子氏
- (4) 日の丸寄せ書き 1旗/履歴表 1冊/写真(裏書あり) 1枚/写真 1枚/写真(蘇鉄を背景に) 1枚 杉山允孝氏
- (5) 棕櫚蓑 1点/藁蓑 1点 阿部勝弘氏
- (6) 紳子張道具(刷毛・張手・紳子針)一式 小野順子氏
- (7) 大鋸 2点/横挽鋸 1点/竿秤 3点/分

- 銅 6点/滑車 1点/ベル 1点/手斧 1点/リム転がし 1点 浅野伯夫氏
- (8) 七島編機 1点 柳本吉子氏
- (9) 両脚膳 3点/提重 1点/高杯 1点 嶋田博文氏
- (10) 唐蓑 1点/篩 1点/通 1点/釜 2点 菰編台 1点 後藤和雄氏
- (11) 箆笥 1点/ゼンマイ時計 1点/蠅叩 2点/蠅取器 1点/行李 2点/畚 2点/地券 数点/教科書 数冊 甲斐正明氏
- (12) カヤヘギ 1点/タネリヨリ 1点 野田洋一氏
- (13) レコード 3枚 平岡国恵氏
- (14) カメラ 8点/8mm撮影機 2点 三浦忠之氏
- (15) 昭和16年佐世保海兵団四等機関兵学記念 1冊/「学窓」海軍工機学校記念写真 1冊 小出美枝子氏

購入資料

- (1) 豊後国万寿寺宛文書 1通
本紙：縦26.0×横33.0cm
本文書は、日付や差出人・宛所を欠くが、文中に大友氏の役職である「^{けんし}検使」を、文禄4年(1594)に大友宗巖(^{よしむね}吉統)が著した『^{たぶきとのものすけ}當家年中作法日記』に“奥の蔵番”としてみえる「^{たぶきとのものすけ}田吹主殿助」に対して申し付けたとあることから、大友氏から発給された内容とみられる。
また、宛所の「当寺領」としてある「^{しもごおり}下郡・朝見、其外不納在所」の地名と、文和4年(1355)の『^{まんじゅじしゅそちてつとうれんしよじょう}万寿寺首座智徹等連署状』に「万寿寺領」としてみえる「^{はたごう}判多郷(下郡)・宝徳寺(朝見郷)・坂田寺・松本名(直入郷)・光吉新開(種田荘)」と内容的に重なることから、豊後国万寿寺へ宛てて出された文書と考えられる。
文面は、“万寿寺領の諸百姓等が近年何かと理由を言って、寺納を納めないとのこと。そのため、田吹主殿助を^{けんし}検使に任じてそれを納めさせることにした。老僧中が協力して「下郡・朝見、其外

不納在所」をよくよく調べ上げることは、寺の務めとして大切なことである。この上、寺物をとどめ置く^{やか}族があれば、その者たちの名前をそれぞれ書き上げ提出いただければ、意向に沿った取り計らいを行うように主殿助には申し含めた。”とあり、万寿寺の寺領経営に大友氏が検使を派遣し関与していたことがわかる興味深い内容である。

なお、文書奥に付せられた書付によると「豊後国大友宗麟様御内葛西周防入道、書之」とあり、本文書を葛西周防入道^{かさいすおうにゅうどう}が記したものとされている。葛西周防入道は、門注所刑部少輔にあてた天正8年(1580)10月7日付の『大友円斎(宗麟)書状』(『増補訂正編年大友史料25』の273号文書)に「猶葛西周防入道可申候」とあり、また天正14年(1586)卯月6日付の『大友宗滴(宗麟)書状写』(『大友家文書録』)の宛所に「古莊丹後入道、葛西周防入道殿、斎藤紀伊入道殿」としてもみえ、宗麟在世中に実在した人物であったことがわかる。

天文16年(1547)の『田尻親種豊後府内参府日記』(『佐賀県史料集成7巻』)には、大友家の「御用筆」として「葛西長門守」なる人物が記されており、書付にみえる葛西周防入道は、その葛西長門守本人か、或いはその一族の者とみられる。先にみたように、『大友円斎(宗麟)書状』・『大友宗滴(宗麟)書状写』という二つの宗麟の書状の中に、葛西周防入道の名前が共に検出されることから、彼は宗麟の御祐筆の一人としてあった人物と考えられる。

また、書付の裏側には「万寿寺大有軒仁被遣御書也、□永松右馬助(花押)」、「太閤様九州日向国江御発足之砌、大有軒にて見付之事」とも記され、本文書がかつて「万寿寺大有軒(大雄院カ)」に伝えられ、天正15年(1587)の豊臣秀吉による九州征伐の際に永松右馬助がそれを見つけたとある。この書付の内容からすると、本文書は、永松右馬助が見つけて出して以降、同家に伝来したものかと思われる。

(2) 大友宗麟感状 1幅

本紙：縦21.0×横43.0cm

大友宗麟が志賀右馬助に出した^{かんじょう}感状で、重ねが

さねの油断なき奉公に対して、望む^{けつしよ}闕所があればその地を給付することを宗麟が約束した内容のものである。

昭和32年刊行の『大分県史料(12)』の中に「深田文書」の3号文書として収められているものと同一内容で、大友義鎮が「宗麟」と名乗って初めて使用した花押を有する珍しい文書である。平成6年に刊行された『大分県先哲叢書 大友宗麟資料集 第三巻』によれば、宗麟のこの花押をもつ文書(正文)は、本内容の文書を加えて13通が紹介されているのみで、その全てが永禄5年(1562)6月から同年12月までの約6ヶ月間に発給されたものとされている。

上記『大分県史料(12)』の記載によれば、「深田文書」は全部で6通の文書からなり、このうち2号文書である大友義鑑書状を、平成6年度に当館で収集している。その2号文書である大友義鑑書状の掛幅表装と同じ^{きり}裂が本文書の表装にも使用されており、また花押の形状や折目の跡なども良好であることから、本文書は「深田文書」に収められている3号文書である大友宗麟感状そのものとみられる。

(3) 細川綱利書状 1幅

本紙：縦17.0×横49.0cm

肥後熊本細川氏三代藩主、綱利^{つなとし}(在職：慶安3・1650年～正徳2・1712年)が、豊後鶴崎に到着した彼のもとへ菓子を届けた南条左衛門に出した礼状。

綱利は、貞享2年(1658)に参勤用の御座船「波奈之丸」^{なみなしまる}を新造し、それまで肥後川尻港に繋留されていたこの船を豊後鶴崎港にまわして瀬戸内海航路に用いた藩主として知られている。本文書は、「至鶴崎就着候」の記述から、そうした瀬戸内海航路を利用して国許の熊本へ帰る綱利が波奈之丸の帰港地である鶴崎へ着き、同地から国許の南条左衛門に出した書状とみられる。

宛名の南条左衛門は、『寛政重修諸家譜』によれば、二代藩主^{ただとし}忠利の末子^{もとも}で、元知といい、家臣の南条大膳元信の養子になった人物とある。また、森田誠一著『熊本県の歴史』によると、寛文9年

(1669) 綱利が家中の陽明学信者らを追放すると、当時家老職にあった元知は、これに反対し諫めたが聞き入れられず、病氣と称して辞任したとある。

本文書は、これらのことから、御座船「波奈之丸」が豊後鶴崎港に繋留されるようになった貞享2年(1658)から、宛名の南条左衛門元知が藩主綱利と対立して家老職を退く寛文9年(1669)までの間に発給された書状とみられ、当時の藩主綱利と叔父で家老の南条元知との関係や、国許と江戸・上方を結ぶルートにおける鶴崎の位置づけなどが窺える興味深い内容のものである。

なお、元知の嫡子是庸は、米田系図(『肥後読史総覧 上巻』)によると、藩主綱利の命によって延宝5年(1677)外祖父米田是長の養子となり、家老職を任じられたとある。是庸が、松井家・有吉家とともに世襲家老の三家に数えられた米田家を継いだため、以後南条家は断絶となっている。

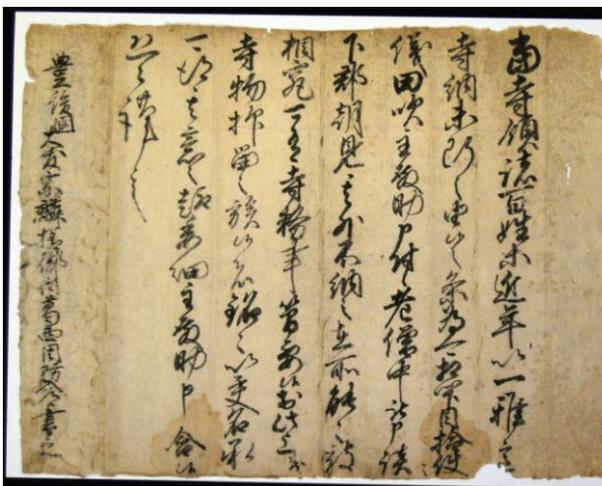
(4) 西国地震瓦版 1枚

安政元年(1854)11月4日～7日にわたって西国を襲った地震“安政南海地震”を知らせる瓦版。『豊前小倉』・『豊後鶴崎』・『芸衆広島』・『播州』・『淡路』・『土佐』の被害状況や、その他の九州・四国・中国の国々の状況を記し、あわせて当該地域の地図を載せる。豊前小倉では「十一日五日申刻大地しん、夜に入候て七、八度も大ゆり、七日朝又大ゆり、人家くつれ、怪我人少々有之候よし御座候」とあり、つづいて豊後鶴崎では「同日同刻大らしんにて、人家四百軒ばかりくづれ、又府内にて人家三百軒くづれ、怪我人の数多く候よ

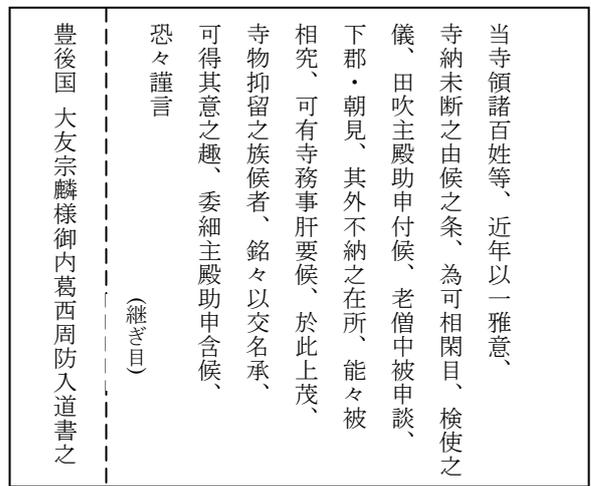
しなり」とあり、11月5日の申刻(午後4時頃)、および7日朝に起きた大地震によって、鶴崎で約400軒、府内で約300軒の人家が倒壊し、多くの怪我人が出たことが記されている。

『府内藩記録』によると、11月5日の記事に「夕七つ時分(午後4時頃)大地震、御城中過半破潰、御家中町在共大破」、11月7日には「昼四つ時分(午前11時頃)大地震、御城御殿向悉皆破潰、北之口御多門潰、御山里矢倉・御人質矢倉破損、其外残矢倉大破、御家中潰大破等々夥敷」とある。また、熊本藩士中村庄左衛門の日記『恕齋日録』によれば、11月5日の記事に「鶴崎より申越候次第ハ、五日七過、大地震ニ而御茶屋御玄関并太鼓櫓崩落、舟蔵十餘棟崩落、町并近在倒家七十軒余、半倒百軒余、寺社堂宇五六ヶ所崩落」、同7日には「鶴崎より之到来二者、今朝五半比已両度候得とも、格別強ハ無之候処、五半過頃、俄ニ大地震相及ハ、(中略)御茶屋半倒、御番宅倒、御米蔵・御銀所倒、新御蔵と御銀蔵残り居候、御郡会所ハ無難、市在十二七八倒、寺々不残倒、蔵々も倒候」とあり、さらに12月1日の記事には「萩原・乙津邊、七分以上皆倒、其外半倒ニ而全家ハ一軒も無之、(中略)府内領尤強、七八分倒家、御城石垣も所々崩落、陸中地形も所引わり、巾二三尺、長サ壹式丁も引わり居候ヶ所多」とある。

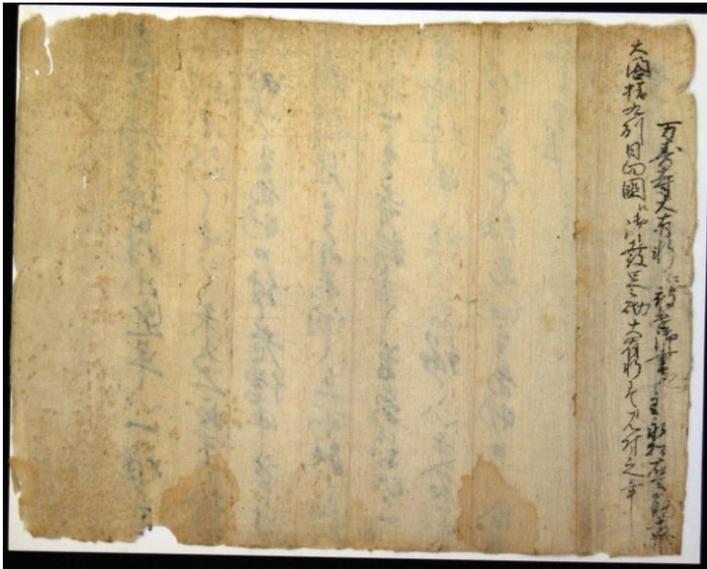
本瓦版は、上記の府内藩記録や『恕齋日録』に記された安政の大地震における府内・鶴崎などの大分市域の甚大な被害の状況を伝える貴重な資料である。



1. 豊後国万壽寺宛文書(表)



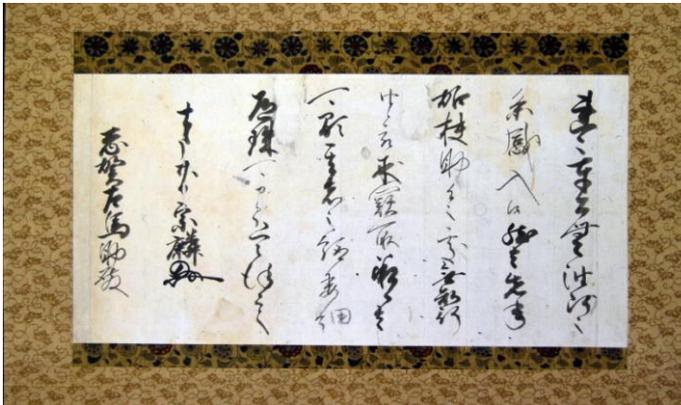
(左) 書き下し



1. 豊後国万壽寺宛文書（裏）

万壽寺大有軒江被遣御書、□永松右馬助（花押）
 大閣様九州日向国江御発足の砌、大有軒にて見付之事
 （継ぎ目）

（左） 書き下し



2. 大友宗麟感状

連々奉公無油断之
 条、感入候、然者先年
 加扶助候之処、無知行
 由候、被求闕所承候者、
 可預其意之趣、委細
 道珠可申候、恐々謹言
 十月廿日 宗麟（花押）
 志賀右馬助殿

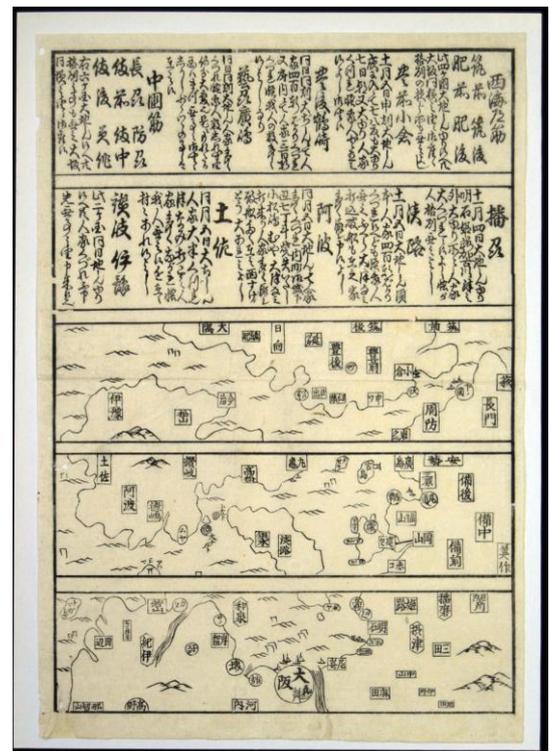
（左） 書き下し



3. 細川綱利書状

至鶴崎就着候、
 菓子到来祝着之
 事候、猶從小姓頭共
 方、可申候、謹言
 越
 九月二日 綱利（花押）
 南条左衛門殿

（上） 書き下し



4. 西国地震瓦版

教育普及活動

ふるさとの歴史再発見

高校生以上を対象に、歴史、考古、民俗・文化史、古文書の4コースの講座を下記の日程で開講。
定員：70名 / 受講料：各コース300円 / 時間：14時～15時30分

(1) 歴史のコース 期間 4月～6月 第1～3土曜日 受講申込者数(71人)受講者総数(487人)

実施日	内容	講師	受講者
4月9日	戦国末期の大友氏の筑前早良郡支配について	武富雅宣(当館職員)	63人
16日	臼杵藩会所元締中山軍蔵一家族との書簡をもとに	大平直子(当館職員)	60人
23日	年中行事からみた大友氏と由原宮	武富雅宣(当館職員)	62人
5月7日	碩田のネットワーク ー嘉永奇事ー	佐藤香代氏(大分県立先哲史料館)	55人
14日	杵築藩城下町の火災と町人の生活	平川毅氏(大分県立歴史博物館)	54人
21日	大分県近代軍事史	植木和美氏(大分市教育委員会文化財課)	49人
6月4日	ちょっと素敵な伊勢参宮日記	大津祐司氏(大分県立先哲史料館)	47人
11日	臼杵藩の歴史資料 ー豊後国絵図とは何かー	岡村一幸氏(臼杵市教育委員会文化財課)	48人
18日	「非戦」の提督堀悌吉 ーその国際的視野ー	安田晃子氏(大分県立歴史博物館)	49人

(2) 考古のコース 期間 7月～9月 第1～3土曜日 受講申込者数(72人)受講者総数(466人)

実施日	内容	講師	受講者
7月9日	出土遺物の変化とその時代	中西武尚(当館職員)	58人
16日	鷹塚古墳 県内最大級の巨石墳	上野淳也氏(別府大学助教)	56人
23日	博物館がやって来た! ー仏さまの“ひみつ”	高宮なつ美氏(大分県立歴史博物館)	56人
8月6日	弥生時代の地図をつくる ー横尾遺跡ー	塩地潤一氏(大分市教育委員会文化財課)	45人
20日	小牧山古墳 祝県指定記念	池邊千太郎氏(大分市教育委員会文化財課)	52人
27日	大分市羽田遺跡・出土の鑄造遺物	五十川雄也氏(大分市教育委員会文化財課)	51人
9月3日	大分市の国指定史跡	中西武尚(当館職員)	46人
10日	府内城・城下町 記録と整合した家主	松浦憲治氏(大分市教育委員会文化財課)	52人
17日	大友氏遺跡 万寿寺塔跡を探せ!	長直信氏(大分市教育委員会文化財課)	50人

(3) 民俗・文化史のコース 期間 11月～12月 第1～3土曜日 受講申込者数(60人)受講者総数(262人)

実施日	内容	講師	受講者
11月5日	大分の近代都市祭礼ー西新町天満社に見る市街地祭礼の変化ー	古瀬美鈴(当館職員)	54人
12日	猫のはなし	阿南希依(当館職員)	38人
19日	昭和の子どもたち ー遊びと流行ー	後藤真治(当館職員)	44人
12月3日	浮立についてのー考察	草場結貴氏(別府大学大学院博士前期課程)	38人
10日	失われた大分の鉄道 I 耶馬溪鉄道	大山琢丸氏(別府大学非常勤講師)	48人
17日	民具とはなにか	細井雅希(当館職員)	40人

(4) 古文書のコース 期間1月～3月 第1～3土曜日 受講申込者数(99人→抽選で87人)受講者総数(598人)

実施日	内容	講師	受講者
1月7日	「豊陽志」	大平直子(当館職員)	80人
14日	〃	武富雅宣(当館職員)	71人
21日	〃	大平直子(当館職員)	67人
2月4日	〃	大平直子(当館職員)	65人
11日	〃	武富雅宣(当館職員)	61人
18日	〃	大平直子(当館職員)	62人
3月3日	〃	大平直子(当館職員)	66人
10日	〃	武富雅宣(当館職員)	62人
17日	〃	大平直子(当館職員)	64人

ふるさとの歴史再発見受講者総数 1,813人

学校・団体の利用

大分市内の小中学校を中心に子ども会やPTA、家庭教育学級、児童育成クラブなどさまざまな団体による体験活動の利用があった。

☆移動講座（移動歴史教室）

歴史体験学習をより多くの学校、団体に活用してもらうために、依頼のあった学校や公民館へ出かけて体験学習を実施した。

〈学校・団体体験活動利用数〉

	利用団体数				利用者数				合計
	学校	団体	移動	合計	資料館		移動講座		
					児童・生徒	大人	児童・生徒	大人	
4月	2	14	0	16	1481	522	0	0	2,003
5月	1	9	7	17	423	473	491	38	1,425
6月	6	1	9	16	501	83	755	86	1,425
7月	6	5	13	24	452	305	954	280	1,991
8月	7	17	4	28	645	361	177	78	1,261
9月	23	0	1	24	929	97	43	7	1,076
10月	37	1	6	44	2,204	246	619	261	3,330
11月	25	2	7	34	2,152	455	456	88	3,151
12月	4	0	4	8	141	51	107	42	341
1月	16	0	2	18	847	105	161	8	1,121
2月	14	7	3	24	457	170	144	47	818
3月	0	2	0	2	80	45	0	0	125
計	141	58	56	255	10,312	2,913	3,907	935	18,067

ふれあい歴史体験講座

親子や一般市民を対象に、下記の歴史体験講座を実施。

時間：午前9時30分～/午後2時～

回	実施日(土曜日)	内容	参加者数			
			子ども	大人	計	
1	4/23	午前	粘土はにわ作り	31	39	70
追加	4/24	午前	粘土はにわ作り	6	5	11
2	5/14	午前	土笛作り	7	19	26
3	5/28	午前・午後	勾玉作り	47	48	95
4	6/11	午前	土偶作り	15	16	31
5	6/25	午前・午後	管玉・丸玉作り	36	24	60
6	7/9	午前	勾玉作り	36	37	73
7	8/13	午前・午後	粘土はにわ作り	73	54	127
8	8/27	午前	土面作り	28	15	43
9	9/10	午前	縄文カゴ編み	16	25	41
10	9/24	午前	遺跡発掘体験	0	0	0
11	10/8	午前・午後	勾玉作り	52	49	101
12	10/22	午前・午後	管玉・丸玉作り	28	21	49
13	11/12	午前	古代火起こし	16	12	28
14	11/26	午前・午後	粘土はにわ作り	25	19	44
15	12/10	午前	縄文土器作り	7	8	15
16	12/23	午前・午後	和風作り	27	30	57
15-2	1/8	全日	縄文土器焼き	7	8	15
17	1/28	午前・午後	勾玉作り	58	38	96
18	2/11	午前	管玉・丸玉作り	22	24	46
19	2/25	午前・午後	土笛作り	44	24	68
20	3/10	午前	古代火起こし	11	8	19
21	3/24	午前・午後	勾玉作り	40	31	71
合計				632	554	1,186

※10回目は台風により中止

体験講座	材料費
勾玉作り	200円
粘土はにわ作り	210円
土笛作り	50円
管玉・丸玉作り	260円
和風作り	200円
縄文かご編み	300円
縄文土器作り	300円
土面作り	120円
土偶作り	170円



粘土はにわ作り

昔のおもちゃで遊ぼう！

子どもの日に豊後国分寺跡史跡公園にて、昔ながらの手作りおもちゃで遊んでもらう体験講座を実施した。今回は、大正2年に作られ、東植田村光吉組で使用されていた消防ポンプ「竜吐水」による放水体験を行った。

実施日：5月5日（木） 9時～16時

料 金：無料

内 容：昔のおもちゃ（折り紙飛行機・割箸紙飛行機・竹トンボ・ブーメラン・竹馬・竹カップポカップ・こま・竹弓矢・羽子板・シャボン玉・水鉄砲・竹アーチェリー・わなげ・ゴム鉄砲・切り紙・糸電話・ぬりえ・数珠玉・お手玉・おはじき）、竜吐水

参加者：333人（大人143人／子ども190人）



竜吐水の放水体験

七夕飾りを作ろう！

7月2日（土）に、来館者に短冊や折り紙で七夕の飾り付けを楽しんでもらう企画を実施。機織り体験や七夕の由来に関するビデオ視聴も行った。

参加者：132人（大人60人／子ども72人）



飾り付けの様子



機織り体験の様子

勾玉作り教室

夏休みと秋の祝日に、事前申込不要で、随時勾玉作りを楽しんでもらえる講座を、計4回実施。

受付時間：9時～11時、13時～15時

材 料 費：1セット 200円

回	実施日	参加者数		
		子ども	大人	計
1	7/31(日)	142	95	237
2	8/14(日)	128	80	208
3	11/ 3(木)	101	79	180
4	11/23(水)	115	96	211
合 計		486	350	836



勾玉作りの様子



勾玉名人認定書の授与式

夏休みジュニア歴史講座

小中学生を対象に、むかしの人々の知恵や技術に触れてもらう体験講座を、2日間連続で実施。

実施日：8月4日（木）・5日（金） 13時30分～16時

内 容：勾玉作り・水墨画・館内見学など

実施日	参加者数		
	子ども	参 観	計
8/4(木)	19	10	29
5(金)	18	10	28
合 計	37	20	57



水墨画体験の様子

子ども1日学芸員

博物館の仕事に興味のある小中高生を対象に、歴史資料館の仕事を体験する講座を実施。

実施日：8月17日(水) 9時30分～16時

内容：温湿度管理・土器の拓本・古文書の解読など

実施日	参加者数			
	小	中	高	計
8/17(水)	4	2	0	6



拓本作業の様子



資料の写真撮影の様子

職場体験学習の受け入れ

	学校数	受け入れ日数	のべ人数
中学校	8校	16日	121
小学校	1校	1日	8
合計	9校	17日	129



民具の計測作業の様子



展示ガラスの清掃

資料館体験学習講習会

夏休み期間中に小・中学校教諭を対象に資料館の体験活動を紹介する講習会を2回実施。

時間：9時15分～12時

内容：資料館体験活動の紹介・体験実践

回	実施日	参加者数
1	8/10(水)	14
2	8/23(火)	12
合計		26

博物館実習

実習生2名を受け入れて、下記の日程・内容で実施した。

実施日	内容	担当
7/28	ガイダンス/体験学習講習 等	武富・中西
7/29	施設の管理/古文書の整理 等	久多羅岐・大平
7/30	民俗資料の収集/体験学習準備	細井・古瀬
7/31	勾玉作り(実習)	後藤・中西
8/1	民俗資料の整理・取り扱い	細井
8/3	民俗調査/展示の企画 等	古瀬・中西
8/4	企画展示実習	中西
8/5	民俗資料整理/体験講座実習	中西・後藤
8/6	企画展示実習	中西
8/7	企画展示実習/レポート作成	武富



体験講座実習の様子

展示解説講座

テーマ展示及び特別展の展示品や内容をスライド等で解説する講座を実施。

時間：14時～ 料金：無料

実施日	内容	参加者
5/22	テーマ展示Ⅰ解説	25
8/21	テーマ展示Ⅱ解説	4
10/30	特別展解説	24
1/22	テーマ展示Ⅲ解説	17
3/4	テーマ展示Ⅳ解説	23
合計		93

ビデオライブラリー

一般入館者への視聴サービスとして、館蔵ビデオの上映サービスを実施。

時 間：随時 料 金：無料

月	視聴者数		
	子ども	大人	合計
4月	16	189	205
5月	2	177	179
6月	3	148	151
7月	250	337	587
8月	180	241	421
9月	0	151	151
10月	4	0	4
11月	232	325	557
12月	0	127	127
1月	7	226	233
2月	0	189	189
3月	0	194	194
合計	694	2,304	2,998

ミュージアム・シアター

16mmフィルムやビデオの上映により、映像から歴史に触れてもらう上映会を実施。

時 間：13時～ 料 金：無料

実施日	内 容	人 数		
		子ども	大人	合計
4/24	大友宗麟の夢ムジカの謎/ 今よみがえる大友の息吹 「八化け頭巾/クラゲの骨なし」	2	4	6
5/22	大友宗麟九州戦国物語/豊後王大友宗麟 「座敷童子/ナマズの使い」	10	20	30
6/26	大友宗麟ザビエルの歩いた道/ 大友宗麟と西洋文化 「七夕さま/さだ六とシロ」	0	0	0
7/17	不滅の69連勝・双葉山宇佐市/伝統の技 「鉢かつぎ姫/一軒家の婆」	6	4	10
8/28	6年に1度の大名行列/ 20世紀最後の大名行列 「ねずみ経/にんじんとごぼうとだいこん」	5	11	16
9/25	油屋熊八・別府/おおいた市祭り歳時記 「くわす女房/蛙になったぼた餅」	1	8	9
10/23	大和への道国東町/古墳は語る 「むりどん/小僧がま」	5	5	10
11/27	おおいたの歴史/古墳時代 「きつねの嫁入り/熊と狐」	1	6	7
12/25	鏝絵紀行安心院町/ 地図にみる大分の今と昔 「うぐいす長者/ミンサザイは鳥の王様」	1	3	4
1/22	城のある風景/明治・大正・昭和 「カサ売りお花/船幽霊」	4	3	7
2/26	豊後路争乱/大友宗麟全盛～終焉 「赤ん坊になったお婆さん/ 水神様と虹の橋」	1	10	11
3/25	やきものの道小鹿田焼/伊万里焼 「花咲か爺さん/夢を買う」	2	8	10
	合 計	38	82	120

※「 」書きは、まんが日本昔ばなし

刊行物

名 称	規格	頁数	部数
歴史資料館ニュース 95号	A4	4	6,500
〃 96号	A4	4	6,500
〃 97号	A4	4	6,500
〃 98号	A4	4	6,500
第30回特別展図録	A4	40	1,000

※年報はホームページにて掲載

資料の利用・貸出

(1) 資料の利用提供

件 名	件数
熟覧・写真撮影	72件
テレビ撮影・雑誌等の取材	11件
印刷物掲載・写真貸与	28件

(2) 資料の貸出

団 体 名	展示会名	点数
大分市教育委員会 文化財課	「大分市の石橋」	13点
大分県立歴史博物館	「きらめくアク セサリー」	1点
村上水軍博物館	「秘伝！能島流 海賊法」	1点
大分市立中島小学校	授業の教材として 利用	4点

広報事業

平成23年度は、以下の施設等に、総合案内・歴史資料館ニュースの配布・掲示のPR活動を実施。

学 校	小・中学校	89校
	高等学校、大学	75校
行 政	市役所関係	88カ所
	県庁関係	4カ所
	県内自治体	48カ所
博 物 館	県外博物館	157カ所
	県内博物館	15カ所
	県外埋文等	111カ所
そ の 他	賀来地区自治会（毎月）	21地区
	市政記者クラブ（随時）	21社
	県内マスコミ	18社
	交通機関・一般施設等	54カ所

市民学芸員の活動

市民や地域にとってより身近な資料館となるよう、市民ボランティアの活力を取り入れることとし、平成23年12月～24年1月に、「市民学芸員」を募集した。

24年2月18日(土)、23日(木)に説明会を実施し、30名を市民学芸員として登録した。また、市民学芸員を、古文書の解説と整理を行う「資料グループ」、来館者への展示解説を行う「解説グループ」、体験活動の指導を行う「体験グループ」の3つに分け、グループごとに研修会を実施した。

歴史資料館利用状況

月別観覧者数

単位:人

年 / 月	開館 日数	観覧者数									講座室利用者数								総来 合館 計者
		一般				団体				合 計	一般		資料館講座			映画会		合 計	
		大人	高校生	中学生	小学生	大人	高校生	中学生	小学生		大人	小中高生	歴史講座 解説講座	資料館 主催 体験講座	学校等 体験教室	大人	小中学生		
23/4	26	283	2	9	140	105	400	233	694	1,866	0	0	185	81	1,922	193	18	2,399	4,265
5	26	327	1	90	94	314	0	11	497	1,334	0	0	183	454	971	197	12	1,817	3,151
6	26	231	3	14	51	88	0	0	501	888	0	0	144	91	1,334	148	3	1,720	2,608
7	27	327	4	7	113	220	0	68	384	1,123	0	0	170	442	1,549	341	256	2,758	3,881
8	26	557	4	20	184	267	3	12	648	1,695	0	0	152	443	818	252	185	1,850	3,545
9	26	637	3	7	183	192	0	56	877	1,955	0	0	148	41	1,035	159	1	1,384	3,339
10	25	367	8	9	115	502	0	0	1,857	2,858	0	0	24	150	3,180	5	9	3,368	6,226
11	27	855	3	7	108	497	13	0	2,217	3,700	0	0	267	463	2,688	331	233	3,982	7,682
12	23	179	0	1	37	75	0	2	139	433	0	0	126	72	269	130	1	598	1,031
24/1	23	452	3	1	120	144	0	0	847	1,567	0	0	235	111	1,010	229	11	1,596	3,163
2	25	192	0	2	40	84	0	9	448	775	0	0	188	113	705	199	1	1,206	1,981
3	26	221	0	10	45	65	0	1	82	424	0	0	215	89	36	202	2	544	968
合計	306	4,628	31	177	1,230	2,553	416	392	9,191	18,618	0	0	2,037	2,550	15,517	2,386	732	23,222	41,840

管 理 及 び 運 営

歴史資料館協議会

- 第1回 開催日 平成23年6月15日(水)
 会場 大分市歴史資料館 会議室
 (1) 委嘱状・辞令の交付
 (2) 委員・職員紹介
 (3) 議事
 ①平成22年度事業報告
 ②平成23年度事業計画及び経過報告
 ③その他

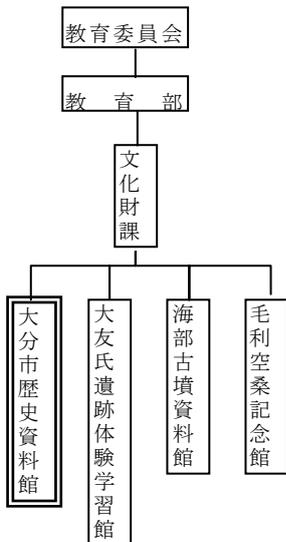
- 第2回 開催日 平成24年3月2日(金)
 会場 大分市歴史資料館 会議室
 (1) 議事
 ①平成23年度事業報告
 ②平成24年度事業計画(案)
 ③その他

協議会委員名簿

氏名	役職	備考
橋 昌信	別府大学教授	学識経験者
豊田 寛三	別府大学学長	〃
深町浩一郎	大分県立歴史博物館長	〃
渋谷 忠章	元大分県立歴史博物館長	〃
小出 綾美	大分市PTA連合会 女性副会長部員	社会教育 関係者
三浦 祥子	元社会教育委員 NPO法人支援事業 選考審査委員会委員	〃
仲元 研二	大分市小学校 校長会代表	学校教育 関係者
淵野 暢浩	大分市中学校 校長会代表	〃
堀 美代子	大分市教育委員会 教育部参事	行政関係者

組織機構・分掌事務・職員・歳入歳出

1. 組織機構



2. 分掌事務

- (1) 資料館の施設及び設備の維持管理並びに使用に関すること。
- (2) 歴史資料、考古資料、民俗資料等(以下「歴史資料等」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- (3) 常設展示及び特別展示の企画及び実施に関すること。
- (4) 歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (5) 歴史、考古、民俗等(以下「歴史等」という。)についての講演会、講習会、研究会、映写会等の開催に関すること。
- (6) 学校、図書館、公民館等の諸施設に対する歴史等についての協力及び活動の援助に関すること。
- (7) 歴史資料等についての案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の刊行に関すること。

3. 職員

(平成24年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名
館長	讃岐 和夫	嘱託	阿部 和広
副館長	久多羅岐明	嘱託	其田 満男
副館長	武富 雅宣	嘱託	神志那 潔
主査	秋吉えつ子	嘱託	古瀬 美鈴
指導主事	後藤 真治	嘱託	大平 直子
指導主事	岩本 浩典	嘱託	細井 雅希
専門員	中西 武尚	嘱託	阿南 希依
主任	金丸 英治	臨時職員	小野 利恵
研修教諭	高野 宏行	臨時職員	中山 琴葉

4. 歳入歳出

単位：千円

歳入		歳出	
科目	金額	科目	金額
観覧料・講座室使用料	723	管理運営費	32,949
歴史講座受講料	85	企画展費	5,305
図録売払代金	309	資料購入費	794
雑収入	3		
雇用保険徴収金	10		
計	1,130	計	39,048

施設管理業務の内容

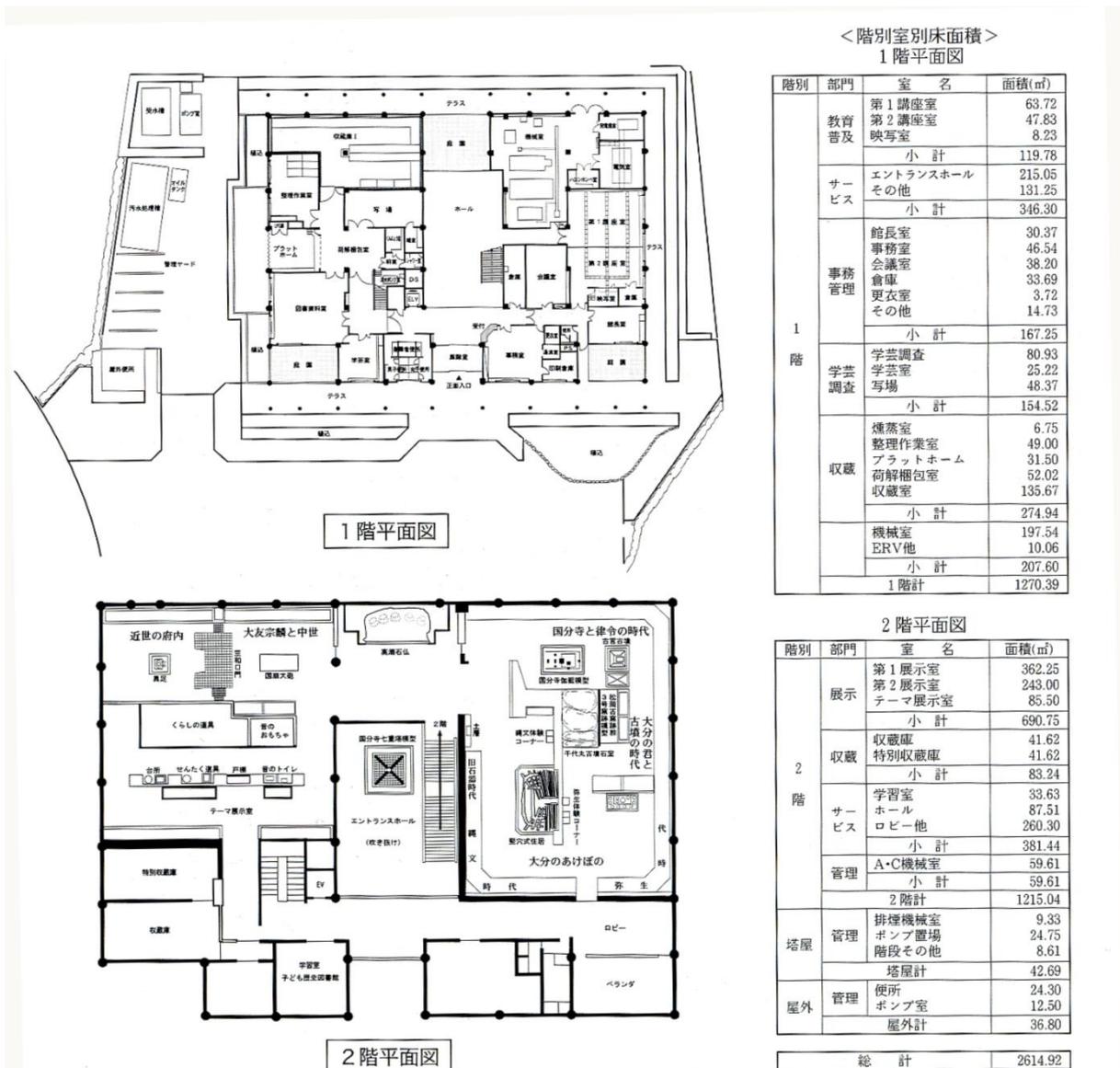
1. 施設管理業務の一部委託

- ① 警備……………総合警備保障㈱
- ② 清掃(館内及び受水槽・高架水槽)
……………(有)日本ビルサービス
(館外)……………(有)協和環境
- ③ 電気工作物保管理
……………日本電気保安協会㈱
- ④ 空調設備(冷暖房)保守点検整備
……………日本暖房鉄工㈱
- ⑤ 消防設備点検……………新日本消防設備㈱
- ⑥ エレベーター保守点検
……………フジテック㈱大分営業所
- ⑦ 自動ドア保守点検……………大分ナブコ㈱
- ⑧ 浄化槽維持管理……………浄化槽事業協同組合
- ⑨ 地下灯油タンク等漏洩検査
……………(有)二豊サービス

- ⑩ モニターカメラ設備保守点検
……………J & K ビジネスソリューション㈱
- ⑪ ボイラー保守点検……………三浦工業㈱大分営業所
- ⑫ 展示資料及び収蔵庫燻蒸
……………㈱大分イカリテクノス
- ⑬ 燻蒸設備保守点検……………(有)環境技術
- ⑭ 歴史資料館緑地帯及び
豊後国分寺跡史跡公園管理
……………㈱九州グリーンサービス

2. 消防訓練の実施 平成 24 年 3 月 22 日(木)
入館者を安全かつ迅速に避難誘導するとともに、初期消火活動の技術の向上をはかり、併せて職員の防火意識の高揚をはかる目的で実施した。 参加人員 16 名

施設の概要



<階別室別床面積>
1 階平面図

階別	部門	室名	面積(m ²)
1 階	教育普及	第1講座室	63.72
		第2講座室	47.83
		映写室	8.23
		小計	119.78
	サービス	エントランスホール	215.05
		その他	131.25
		小計	346.30
	事務管理	館長室	30.37
		事務室	46.54
		会議室	38.20
倉庫		33.69	
更衣室		3.72	
その他		14.73	
	小計	167.25	
学芸調査	学芸調査	80.93	
	学芸室	25.22	
	写場	48.37	
	小計	154.52	
収蔵	燻蒸室	6.75	
	整理作業室	49.00	
	プラットフォーム	31.50	
	荷解梱包室	52.02	
	収蔵室	135.67	
	小計	274.94	
機械室	機械室	197.54	
	ERV他	10.06	
	小計	207.60	
1 階計		1270.39	

2 階平面図

階別	部門	室名	面積(m ²)
2 階	展示	第1展示室	362.25
		第2展示室	243.00
		テーマ展示室	85.50
		小計	690.75
	収蔵	収蔵庫	41.62
		特別収蔵庫	41.62
		小計	83.24
	サービス	学習室	33.63
		ホール	87.51
		ロビー他	260.30
	小計	381.44	
管理	A・C機械室	59.61	
	小計	59.61	
	2 階計	1215.04	
塔屋	排煙機械室	9.33	
	ポンプ置場	24.75	
	階段その他	8.61	
	塔屋計	42.69	
屋外	管理	便所	24.30
	ポンプ室	12.50	
	屋外計	36.80	
総計		2614.92	

利用案内

開館時間 9時～17時

(入館は16時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)

ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館(祝日は開館)

祝日の翌日

(土・日曜日の場合は開館)

年末年始(12月28日～1月4日)

観覧料 大人200円(団体150円)

高校生100円(団体50円)

中学生以下は無料

*団体は20名以上

*特別展開催中は、別料金となる場合があります。

交通機関 JR久大本線

◎豊後国分駅下車:徒歩2分

大分バス [国分新町行き]

◎歴史資料館入口下車:徒歩5分

大分自動車道

◎大分 I.C・光吉 I.C よりともに約15分

2011.4~2012.3 OITA CITY HISTORICAL MUSEUM
大分市歴史資料館総合案内

展覧会

- 4 テーマ展示 I 豊後南産交流史 (全4コース 14時~15時30分)
 - 4月23日(土)~7月4日(月)
 - 4月第2~4土曜日 5・6月第1~3土曜日
 - 7月第2~4土曜日 8月第1~3土曜日 9月第1~3土曜日
- 5 7月第2~4土曜日
- 6 8月第1~3土曜日
- 7 11・12月第1~3土曜日
- 8 テーマ展示 II 昭和・平成の遊び (7月16日(土)~10月16日(日))
- 9 秋の特別展 大分の君 一飛鳥と豆後をつないだ人 (10月21日(金)~11月27日(日))
- 12 テーマ展示 III 名所絵・絵はがきにみる 昔の風景 (12月17日(土)~1月29日(日))
- 1 テーマ展示 IV 館蔵陶磁器 一やきものの魅力 (2月4日(土)~4月2日(月))

講座等

- ふるさとの歴史再発見
 - ◆歴史のコース 4月第2~4土曜日 5・6月第1~3土曜日
 - ◆史古のコース 7月第2~4土曜日 8月第1~3土曜日 9月第1~3土曜日
 - ◆民俗・文化史のコース 11・12月第1~3土曜日
 - ◆古文書のコース 1~3月第1~3土曜日
- ◆定 費 全コースとも70円
- ◆対 象 高校生以上
- ◆参加料 各コースとも400円
- ◆展示解説講座 テーマ展・特別展ごとき開催時、スライドなどで展示品を解説し、会場を案内します。
- ◆ミュージアム・シアター 歴史に関する映画・ビデオの上映

体験講座

- ふれあい歴史体験講座
 - ◆定 員 各組70名(先着順)
 - ◆対 象 親子一泊大分のみ可
 - ◆時 間 9時30分~14時

利用案内

- ◆開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)
- ◆休 館 日 月 曜 日 (但し祝日の場合は開館、但し第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館、年末年始 12月28日~1月4日)
- ◆観 覧 料 大人 200円(団体150円) 高校生 100円(団体50円) 中学生以下 無料
- ◆休 館 日 但し、1日曜日は開館し、翌火曜日は休館
- ◆特 殊 開 館 年 末 年 始 休 館 日 12月28日~1月4日
- ◆特 殊 開 館 年 末 年 始 休 館 日 12月28日~1月4日
- ◆特 殊 開 館 年 末 年 始 休 館 日 12月28日~1月4日



大分市歴史資料館年報
2012
発行日 平成24年6月30日
編集・発行 大分市歴史資料館
〒870-0864 大分市大字国分960番地の1
TEL(097)549-0880 FAX(097)549-5766

